

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組1	暮らしが楽しくなる都市拠点の創出
取組の目的	誰もが安心して快適に暮らせる、いつまでも暮らしが楽しくなるまちづくりを推進します。
現状と課題	◎今後、高齢化の進展や人口減少などが見込まれ、既存市街地の空洞化や公共施設の老朽化などにより生活機能の低下が懸念される。 ◎平成30年3月に都市計画マスタープランを策定し、都市と自然環境との調和を図りつつ、人口減少・高齢社会を見据えた誰もが快適に暮らしていけるコンパクトな都市構造への転換を目指し、都市拠点・地域拠点を中心とした生活機能の集約と拠点間の連携を強化していく必要がある。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	市民がまちづくりに参加する地区数(地区計画など)(地区)	目標値	—	7	8	9	10	87.5%
		実績値		7	7	7		
2	地区計画などの実施面積(ha)	目標値	—	338	346	355	360	89.3%
		実績値		299	299	309		
3	土地区画整理実施区域内の未利用区画数(区画) ※実績値:上段は現在施行地区のみ 下段は市域全体	目標値	—	817	792	784	770	100.0%
		実績値		827(778)	783(683)	765(599)		
		目標値	—	—				
		実績値						
		目標値	—	—				
		実績値						
		目標値	—	—				
		実績値						
96.1%								92.3%

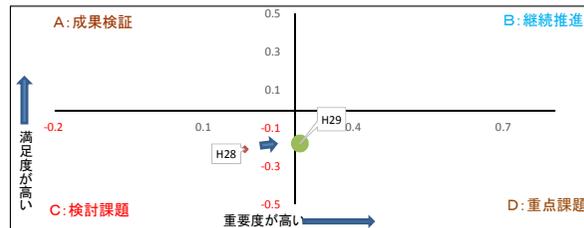
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策3取組1 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.20	0.31			
満足度	-0.20	-0.17			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)コンパクトに生活機能が集約した都市拠点の形成

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	注
袋井駅南地区まちづくり事業	都市計画課	512	9,000	拡充	◎

基本方針(2)安全で魅力ある市街地の形成及び再生

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	注
袋井駅南都市拠点土地区画整理事業	都市計画課	80,276	293,896	拡充	◎
袋井市上山梨第三土地区画整理事業	都市計画課	61,280	0	皆減	

基本方針(3)地域資源の保全と良質な景観形成の推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	注
景観形成推進事業	都市計画課	683	494	維持	
屋外広告物適正化事業	都市計画課	3	2,106	維持	

基本方針(4)総合的な住宅施策の推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	注
市営住宅施設整備事業	都市計画課	30,591	50,000	維持	

基本方針(5)まちづくりへの市民参加の推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	注
地域まちづくり支援事業	都市計画課	812	618	維持	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎市民意識調査の結果では、重要度・満足度ともに昨年度の数値より増加しており、市民の関心が高まっている取組である。 ◎市民がまちづくりに参加する地区数及び地区計画の実施面積については、川井西地区や袋井駅南地区において、現在地域住民との意見交換や検討を続けており、継続した支援を行っていく必要がある。 ◎土地区画整理実施区域内の未利用区画は、住宅メーカーによる複数区画でのセット販売などにより減少しており、効果的な利用が図られている。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎袋井駅南地区のまちづくり事業では、区画整理地区内の仮換地指定、メディカル地区における医療・高齢者・保育施設の誘致を行うとともに、商業地区における業務代行予定者の選定について支援を行った。 ◎川井西地区と駅南地区で住民説明会や関係機関との協議を行うなど、地区計画の決定に向けた支援を行った。 ◎市営住宅の長寿命化を進めるため、広岡団地B棟と再開発住宅駅前団地の屋上防水工事などを行った。		
III. 今後の展開方向	◎都市拠点の中心核であるJR袋井駅南地区に快適な住環境と利便性の高い商業・医療・福祉機能を集約することで、まち全体に活力とにぎわいを創出するため、土地区画整理事業・メディカル地区・商業地区の整備と、自歩道や公園整備などを含めた駅南まちづくり事業を計画的に進めていく。 ◎市民のまちづくりへの参加については、都市防災上危険な地域や地域内での合意形成など、個々の実情にあわせた課題検討や意見交換などの支援を行い、地域との協働によるまちづくりを推進する。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組2	誰もが移動しやすいまちづくり
取組の目的	日常生活の移動を円滑にするため道路整備を行い、利用しやすい公共交通と拠点ネットワークを構築します。
現状と課題	◎本市の交通移動手段は、約7割が自動車を占め、今後、一層高齢化が進むことを見据え、最適な公共交通を再構築することが求められる。 ◎道路や橋梁などのインフラについては、適切な維持管理と計画的な更新を行う必要があるが、今後においても厳しい財政が見込まれる中、選択と集中を徹底し、安全確保とコスト削減を図っていく必要がある。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	市営バス(自主運行バス・デマンドタクシー・地域協働運行バス)の利用者数(人)	目標値	—	38,000	38,400	38,450	38,550	95.6%
		実績値	39,160	38,071	36,709			
2	幹線道路の歩道整備率(%)	目標値	—	39.9	40.0	40.1	40.3	100.0%
		実績値	40.0	40.1	40.1			
3	協働による道路整備適用率(生活道路)(%)	目標値	—	82.5	85.0	87.5	92.5	100.0%
		実績値	80.0	85.0	85.0			
4	修繕実施橋梁数(橋)	目標値	—	19	22	25	29	100.0%
		実績値	19	21	22			
		目標値	—	—				
		実績値						
		目標値	—	—				
		実績値						
			100.0%					98.9%

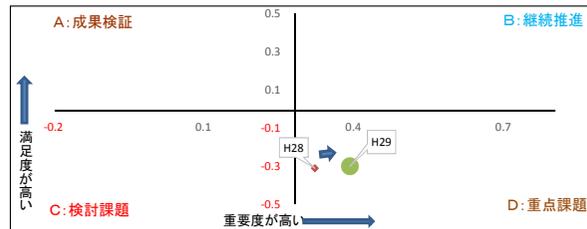
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策3取組2 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.34	0.41			
満足度	-0.30	-0.29			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1) 利用しやすい公共交通網の構築

自主運行バス運行事業	協働まちづくり課	51,813	53,801	維持	◎
生活バス路線確保対策事業	協働まちづくり課	50,367	63,000	維持	
天竜浜名湖鉄道運営支援事業	協働まちづくり課	493	582	維持	

基本方針(2) 安全で円滑な道路整備の推進

袋井市上山梨沿道整備土地区画整理事業	都市整備課	173,848	218,000	縮小	
(都)山梨中央通り線新設事業	都市整備課	100,128	115,261	拡充	
(都)上久能山科線(第二工区)道路改築事業	都市整備課	63,643	0	皆減	
3級市道整備事業	建設課	54,934	43,000	維持	

基本方針(3) 協働によるみちづくりの推進

協働によるみちづくり事業	建設課	842	900	維持	
--------------	-----	-----	-----	----	--

基本方針(4) 道路の老朽化対策の実施

道路・橋りょう維持管理事業	建設課	202,215	179,787	維持	
橋りょう長寿命化修繕事業	建設課	53,674	103,560	拡充	◎
道路ストック総点検事業	建設課	44,000	55,000	維持	
道路舗装補修事業	建設課	28,806	58,644	拡充	◎

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎市民意識調査の結果では、重要度は高いものの、満足度が低い、重点課題に位置づけられる分野である。 ◎市営バスの利用者については、デマンドタクシーと地域協働運行バスの利用者は増加したものの、自主運行バスの利用者が減少したため全体数では、前年度比約1,400人が減少し、目標値を大きく下回った。 ◎幹線道路の歩道整備率・協働による道路整備適用率・修繕実施橋梁数はいずれも目標値を達成しており、新規の道路整備と既存施設の適切な保全を計画的に実施している。	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎デマンドタクシーについては、宇刈地区及び浅羽南地区において、料金や運行便数の見直しを図る中で、平成29年10月から本運行を開始した。 ◎中央北地域における地区幹線道路として、平成21年度から行ってきた都市計画道路上久能山科線の整備を完了し、交通渋滞を緩和するとともに、歩行者・自転車利用者の安全対策を行った。 ◎既存施設の維持管理について、老朽化している道路及び橋りょうの修繕を実施した。		
III. 今後の展開方向	◎自主運行バスやデマンドタクシーなど市営の公共交通については、民間事業者が提供するサービスを含め、公共交通全体を再構築したうえで、最適な利活用を推進していく。 ◎道路については、地元住民との合意形成が図られた路線を中心に整備を進めるとともに、既存施設は、国に対して修繕や長寿命化対策に必要な財源確保に向けた要望を続けるとともに、点検を徹底し、修繕箇所の優先順位を見直した上で、必要な修繕を計画的に行っていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組3	花と緑と水のまちづくり
取組の目的	地域の資源を活かした憩いの場の創出や、花と緑にあふれるまちづくりを推進します。

現状と課題	◎本市の都市公園の多くは、高度経済成長期に整備され、供用開始後30年以上が経過し、壊れたら直すといったこれまでの事後保全から、定期的に修繕を行う予防保全対策の必要性が求められている。 ◎公園の維持管理については、地域の愛護団体等により管理されている公園が多く、高齢化が進んでいるため活動の継続に影響が生じており、担い手確保が急務となっている。
-------	--

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	未利用地を活用した広場面積(m ²)	目標値	—	0	0	0	1,000	—
		実績値	0	0	0			
2	公園愛護団体数(団体)	目標値	—	81	82	83	85	100.0%
		実績値	81	82	84			
3	花工場の花苗配布数(ポット)	目標値	—	166,000	167,000	168,000	170,000	98.3%
		実績値	162,400	164,150	164,075			
4	花育に関わる講座・イベントの開催数(回)	目標値	—	8	10	13	20	100.0%
		実績値	7	9	10			
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
				99.6%				99.4%

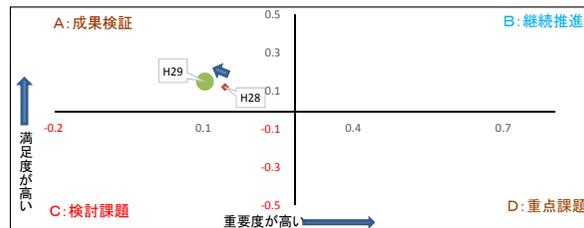
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	一人当たり都市公園等面積(市町公共施設状況)(m ²)県「平成28年度都市公園整備水準調査」	28.4	7.0	14.4	7.8	4.2	8.6
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策3取組3 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.16	0.12			
満足度	0.13	0.16			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)身近な公園・広場の創出

みつかわ夢の丘公園整備事業	環境政策課	297,479	14,129	維持	
公園愛護活動事業	都市整備課	6,373	6,005	維持	
東海道どまん中袋井宿発信事業(メモリアル広場整備含む)	協働まちづくり課	561	597	拡充	◎

基本方針(2)花を通した市民の健康づくり・交流の促進

花壇維持管理事業	都市整備課	6,215	6,340	維持	
花工場運営事業	都市整備課	5,658	5,518	維持	

基本方針(3)歩いてみたくなる水辺空間の創出

花咲くふくろい推進事業	都市整備課	1,824	3,536	維持	
-------------	-------	-------	-------	----	--

基本方針(4)公共緑地の適切な管理と宅地内緑化の推進

公園芝生・樹木等管理委託事業	都市整備課	68,885	70,451	維持	
街路樹管理委託事業	都市整備課	61,979	68,676	維持	
公園維持管理事業	都市整備課	49,550	45,684	維持	
公園長寿命化事業	都市整備課	29,820	46,000	維持	◎

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎本市には、エコパがあり、一人あたりの都市公園等面積は28.4m ² と近隣市と比較しても充足しており、地域住民の交流の場や防災機能の役割を担っている。 ◎公園施設等の維持管理にあたって、地域の愛護団体など、担い手の確保に努めている。 ◎緑化推進に繋がる花工場の花苗配布は、目標値及び前年度実績を下回ったことから、配布先の検討が必要である。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎平成19年度から事業を進めた「みつかわ夢の丘公園」について、市営墓地機能を備えた都市公園として整備が完了した。 ◎既存の公園施設について、長寿命化計画に基づき、トイレや遊具などの公園施設の更新や修繕を行った。また、花育に関する講座・イベントを開催し、公園愛護の意識醸成に努めるとともに、新たな愛護団体を確保した。		
III. 今後の展開方向	◎供用開始後30年以上経過している公園施設については、定期点検を徹底した上で、長寿命化計画に沿い、必要な対策を計画的に行っていくとともに、植栽や遊具などの管理物について、維持管理の観点から適切な数量を検討していく。 ◎公園や街路樹に対する愛着と大切に扱う意識の醸成に努め、愛護活動に協力いただく団体や人数を増加していく。 ◎公園施設の利活用の促進に向け、ミズベリングの開催などNPOや市民団体等と連携した取組を行っていくほか、特化公園を検討していく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組4	恵みある河川・海岸づくり
取組の目的	人の生活に欠かせない水や多様な生物が生きる河川や海岸を大切に、河川愛護や海岸保全の活動を推進します。

現状と課題	◎浅羽海岸の整備について、平成40年(2028年)度の完成に向け、県の防災林造成事業と連携しながら防潮堤の整備を進めている。浅羽南部地域の周辺施設を含めて、地域住民に有効利用される施設とする必要がある。 ◎河川堤防について、草刈りなどの維持管理を自治会や部農会などに担っていただいているが、高齢化や人口減少の影響により継続実施が困難となっており、支援の充実と新たな担い手確保が必要となっている。
-------	--

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	浅羽海岸クリーン作戦参加者数(人)	目標値	—	1,400	1,400	1,400	1,500	71.4%
		実績値	900	1,000	1,000			
2	河川愛護活動参加者数(人)	目標値	—	25,500	26,000	26,500	27,500	86.5%
		実績値	23,641	23,416	22,496			
3	河川愛護(リバーフレンドシップ)の協定締結団体数(団体)	目標値	—	48	49	50	55	100.0%
		実績値	52	52	52			
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
								87.7%
								86.0%

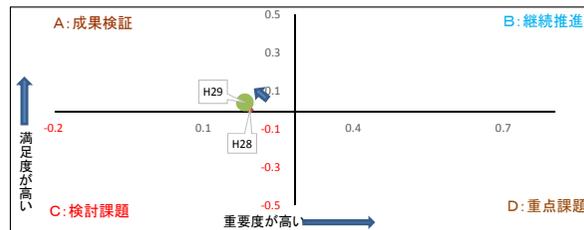
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策3取組4 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.21	0.20			
満足度	0.01	0.05			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)環境に配慮した河川・排水路の整備推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
河川・排水路維持管理事業	建設課	33,367	27,122	維持
新町・本町地内排水路改修事業	建設課	7,128	7,000	皆減
山田下谷の沢整備事業	建設課	3,795	4,200	維持

基本方針(2)河川愛護の推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
河川・海岸愛護事業	建設課	36,503	38,516	維持 ◎

基本方針(3)美しい海岸の創出

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
河川・海岸愛護事業【3-4-(2)再掲】	建設課	36,503	38,516	維持
松林保全管理事業(グリーンウェーブ活動)	農政課	11,371	3,493	維持
松食い虫等防除事業	農政課	764	2,145	維持
生活環境保全林ゴミ清掃事業(県有防災林)	農政課	135	120	維持

基本方針(4)海岸侵食対策の推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
福田漁港・浅羽海岸サンドバイパス推進事業	建設課	—	—	維持

基本方針(5)防潮堤整備と利活用の促進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
静岡モデル(袋井市)防潮堤整備事業	建設課	493,497	181,417	維持 ◎

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎浅羽海岸クリーン作戦参加者は、昨年度同様の参加であったが、目標値を大きく下回った。 ◎河川愛護活動参加者は、作業が危険な箇所もあるなど、高齢化とともに年々減少している。特に昨年度は前年比約900人減っており、引き続き自治会への働きかけを継続するとともに、より安全な河川愛護活動ができる対策と担い手確保を講ずる必要がある。 ◎防潮堤については、計画的にハード整備を進める一方、地域住民との対話により利活用を図る検討を行っている。	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎豊沢工業団地からの開発発生土を活用して防潮堤を整備するとともに、完成後の利活用の実施計画策定に向けて4回の協議検討を行ったほか、植樹会を実施した。 ◎浅羽海岸周辺において、松くい虫被害防止・グリーンウェーブキャンペーン事業(育樹活動)、県有防災林のゴミ清掃など、地域団体とともに保全活動を行った。また、7月の海岸愛護月間にあわせ、地元自治会や浅羽中学校生徒を中心に、「海岸クリーン作戦」を実施した。 ◎地元自治会などの協力により、河川の草刈り等の河川愛護活動を実施した。		
III. 今後の展開方向	◎袋井幸浦の丘プロジェクトとして、防潮堤の完成に向け、引き続き整備を進めるとともに、今後の利活用を検討するため、地元住民を対象としたワークショップを行い、実施計画を作成していく。 ◎堤防の草刈りを含めた河川愛護活動について、参加者が減少している状況から、新たな担い手を確保するため、多くの市民が参加できる制度の創設に向けた検討を行っていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組5	豊かな環境の醸成と継承
取組の目的	市民・地域や企業等との協働により、環境にやさしい持続可能な社会の構築と多様性ある自然環境を保全します。
現状と課題	◎自然環境の保全と環境負荷の少ない資源循環型社会の構築が求められており、資源循環の理解と環境保全に対する意識の向上に努めた上で、省資源、省エネルギーを推進していく必要がある。 ◎下水道事業の経営基盤強化を図り、安定した持続可能な経営が必要である。併せて、稼働から20年が経過し、設備機器等の更新時期を迎えており、良好な運転保持のため計画的な更新及び修繕が必要である。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	1人1日あたりの可燃ごみの排出量(g/日)	目標値	—	516	515	514	510	97.3%
		実績値	529	529	529			
2	再生可能エネルギー機器設置件数(件)	目標値	—	7,983	8,883	9,783	10,000	92.7%
		実績値	6,903	7,602	8,237			
3	生ごみ処理機等設置費補助金交付件数(台)	目標値	—	2,290	2,315	2,340	2,390	97.2%
		実績値	2,204	2,245	2,249			
4	環境教育(ごみの教室、アースキッズ事業、エコパを活用した環境教育)の実施件数(件)	目標値	—	45	46	47	50	95.7%
		実績値	47	44	44			
5	汚水処理人口普及率(%)	目標値	—	74.0	75.4	76.8	79.6	100.0%
		実績値	72.5	73.9	75.9			
6								96.6%
			97.7%			96.6%		

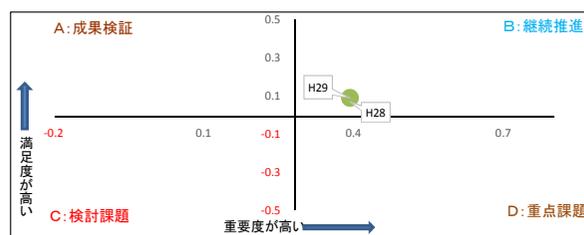
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	ごみ排出量(1人1日あたり)(g) 県「一般廃棄物処理事業のまとめ(平成28年度)」	872	749	641	675	825	886
2	汚水処理人口普及率(%) 県「静岡県の下水道道より(平成29年度)」	75.9	89.4	71.6	71.9	78.5	80.7
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.41	0.41			
満足度	0.08	0.10			

政策3取組5 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)資源循環型社会の推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
新エネルギー推進事業	環境政策課	16,933	18,742	維持
バイオマス利活用推進事業	環境政策課	481	540	維持
環境基本計画推進事業	環境政策課	393	913	維持
省エネルギー推進事業	環境政策課	67	130	維持

基本方針(2)環境保全意識の高揚

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
環境教育推進事業	環境政策課	1,577	1,873	拡充

基本方針(3)地球環境の保全

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
新エネルギー推進事業【3-5-(1)再掲】	環境政策課	16,933	18,742	維持
バイオマス利活用推進事業【3-5-(1)再掲】	環境政策課	481	540	維持
環境基本計画推進事業【3-5-(1)再掲】	環境政策課	393	913	維持
省エネルギー推進事業【3-5-(1)再掲】	環境政策課	67	130	維持

基本方針(4)郷土の豊かな水辺環境の保全

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	備考
公共下水道事業(袋井処理区)	下水道課	503,266	677,018	維持	◎
公共下水道事業(浅羽処理区)	下水道課	133,653	215,396	維持	
合併処理浄化槽設置事業	下水道課	118,823	126,466	拡充	◎
公共下水道事業ストックマネジメント計画等策定業務	下水道課	19,900	7,000	皆減	
地方公営企業法適用移行業務	下水道課	8,057	19,008	維持	

基本方針(5)生活環境の保全・改善

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
美化運動推進事業	環境政策課	10,761	10,452	維持

基本方針(6)快適な環境の創造

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性
不法投棄対策事業	環境政策課	506	642	維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎可燃ごみの排出量については、平成28年度ごみの分別方法を変更した影響もあり、ごみ削減に向けた啓発を行っているものの、排出量の減少には至っていない。 ◎再生可能エネルギー機器の設置は増加しているものの、固定買取価格の低下により設置の伸び率が低下し、目標値には到達していない。 ◎汚水処理人口普及率は、公共下水道の整備や供用開始区域内における接続率の向上、合併処理浄化槽への転換促進により、目標値を達成している。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎市民や事業所を対象にごみの減量に向けたPRや水切りの実演を行うとともに、省エネや新エネルギー機器の導入を促進するため、広報紙やホームページで補助制度の紹介を行った。 ◎小中学校等で出前ECO教室やアースキッズ事業など、44件の環境教育を実施した。 ◎計画的な公共下水道の整備を進め、供用開始区域内における接続率の向上を図るとともに、合併処理浄化槽への転換促進に取り組んだ。		
III. 今後の展開方向	◎平成30年度に策定する環境基本計画に基づき、古紙回収やグリーンリサイクル事業、生ごみリサイクルなど、ごみの減量に向けた様々な取組を進めていくとともに、太陽光やバイオマスなど省エネ・新エネルギーの促進を図っていく。 ◎地方公営企業法の適用や中長期的な経営の基本計画となる「経営戦略」を策定し、経営基盤の強化を図るとともに、「ストックマネジメント計画」を策定し、計画的な更新・修繕を行い、長期的かつ効率的で持続可能な下水道事業を進める。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組6	生活を快適にするICT環境の構築
取組の目的	市民生活や産業活動におけるICTの利用環境の充実を図るとともに、ICTにより市民サービスの向上を図ります。

現状と課題	◎人口減少により労働力不足が深刻化するなか、今後においても働き手の確保は全国的な課題と見込まれ、限られた労働力を有効に機能させるためには、様々な分野でICTを積極的に活用することが期待されている。 ◎ICTを活用できる人材の育成には多くの時間と経費が必要となることから、ICTに強みを持つ民間や大学等との連携を図り、効率的・効果的に行っていくことが重要となる。
-------	---

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	電子申請で届出・申請可能な手続きの種類(種類)	目標値	—	21	22	23	25	100.0%
		実績値	19	20	24			
2	オープンデータ公開件数(件)	目標値	—	100	500	600	800	100.0%
		実績値	23	443	533			
3	公共施設のWi-Fiスポット設置割合(%)	目標値	—	52.5	62.5	75.0	100.0	100.0%
		実績値	45.0	57.5	62.5			
		目標値						100.0%
		実績値						
		目標値						100.0%
		実績値						

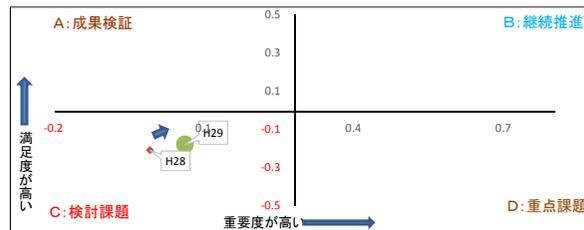
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策3取組6 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.01	0.08			
満足度	-0.20	-0.17			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)ICTを活かした先進性の高いまちづくりの推進

ICT街づくり推進事業	ICT街づくり課	5,458	2,919	拡充	◎

基本方針(2)新たな価値の創出と地域活性化につながるICTの活用

ICT街づくり推進事業(地方創生推進交付金事業)	ICT街づくり課	4,144	4,590	拡充	

基本方針(3)ICTを活用できる人材の育成

ICTを活かした先進教育推進事業(小学校・中学校)	学校教育課	7,235	10,057	拡充	◎
市民のITリテラシー向上推進事業【再掲1-3-(2)】	生涯学習課	500	500	皆減	

基本方針(4)ICTインフラの整備

ICT街づくり推進事業【再掲3-6-(1)】	ICT街づくり課	5,458	2,919	拡充	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎市民満足度調査において、重要度・満足度ともに昨年度の数値よりも高まっている。 ◎オープンデータの公開件数については、大きく増やした平成28年度より更に件数を増加させ、目標値を達成している。また、市のホームページと連動したオープンデータ専用サイトを開設し、利活用の推進を図っている。 ◎公共施設へのWi-Fi設備については、計画どおり整備が進んでいる。	H29の評価	A(順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎番号制度におけるマイナンバーカード子育てワンストップサービスの導入に伴い、児童手当の認定請求など4つの手続きについて、電子申請を利用したサービスを開始した。 ◎市のホームページと連動したオープンデータ専用サイトを開設し、データ掲載に係る職員負担を軽減しつつ、継続的にデータを公開できる仕組みを導入した。 ◎公共施設へのWi-Fi整備を進めたほか、民間施設への普及に向けて、商工会議所や商工会、観光協会との協議を進めた。		
III. 今後の展開方向	◎平成30年度に策定する、官民によるデータ活用の推進を盛り込んだ新たな「ICT推進計画」に基づき、事業を進めていく。 ◎マイナンバー制度の普及に向け、市民に対する理解を深めていくとともに、介護等の手続きについて電子申請を進めていく。 ◎オープンデータのコンテンツを充実していくに加え、より2次利用しやすいデータを公開するとともに、アプリなどへの積極的な活用を図っていく。 ◎ラグビーワールドカップを機に、訪日外国人が快適に市内で滞在できるよう、民間事業者などと連携し、民間施設等におけるWi-Fi環境の充実に向けていく。		